

# 5

基本目標



miyaki  
town  
master  
plan





## 心豊かで 多様性のあるまち



施策分野

ページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS P36

	(1) 文化芸術・歴史伝統 ▶ 80	3	4	11	
	(2) 生涯学習 ▶ 83	3	4	11	
	(3) 人権・共生 ▶ 85	5	10	16	17
	(4) 多文化共生・国際交流 ▶ 87	10	16	17	

5

# 心豊かで多様性のあるまち



## (1) 文化芸術・歴史伝統

### 施策分野の目標

気軽に文化芸術活動に参加し、実践できる機会を創出することによって、豊かな心を育むまちを目指します。

住民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進め、住民による文化芸術の振興を推進します。

文化財や史跡、歴史・伝統文化等に接することができる機会をつくとともに、伝承芸能等の歴史的な文化財については、地域において適切な保存・継承ができるまちを目指します。

		目標値 (R14 年度)	実績値
成果指標	町重要無形民俗文化財の登録数	7 件	2 件
	伝統文化参加者数	500 人 / 年	450 人 / 年

### 主な現状と課題

- 文化連盟が主催する文化祭等のイベントに対して、後援する等自主的な運営を支援しています。
- みやき町伝統文化保存協会を通じて、各地区の伝統文化保存団体への支援を行っています。しかし、伝承芸能の開催方法の変更や回数の減少、少子高齢化等により、伝統文化の保存継承が危ぶまれてきています。
- 歴史資料については、遺跡の発掘で出土した遺物や、住民から寄贈された民俗資料がありますが、収納場所が分散しており、また、収納施設の老朽化が目立っています。
- 住民を対象とした歴史講座の開催や、小学生の郷土学習において遺跡の説明を行う等、住民の歴史・伝統を守る意識を醸成しています。しかし、歴史講座の参加者が高齢化しており、幅広い世代に興味を持ってもらう必要があります。

## 基本施策

01

### 文化芸術活動の育成

住民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進め、住民による文化芸術の振興を推進します。

#### 主な取り組み

- 自主的な文化芸術活動への支援
- 活動の発表機会・場の充実
- 気軽に文化芸術に触れられる機会の充実
- 大学との連携による文化振興の推進

02

### 歴史・伝統文化の継承への支援

伝統文化は郷土の誇りであり、住民の心の拠り所となります。しかし、高齢化や少子化により後継者が不足したり、伝統文化行事等の開催費用の捻出等に苦労している状況です。そのような状況を改善するため、町として伝統文化の保存に関する方針を固めます。また、伝統文化保存団体への支援

を行うとともに、伝統文化の保存継承のための助言等の取り組みを行います。

#### 主な取り組み

- 「文化財保存活用地域計画」の作成
- 伝統文化保存団体への各種支援
- 歴史観光ボランティアガイド人材の育成
- 伝統産業の振興

03

### 歴史資料の保存・有効活用

町内の文化財保護のため、開発が行われる前に埋蔵文化財の発掘調査を実施しており、その際に出土した遺物や記録類の整理作業を行っています。調査で得られた成果を住民に還元し、町の歴史についてより広く知ってもらうために、歴史資料の展示や保存等、有効活用を進めていきます。また、

住民より寄贈を受けた民俗資料の整理を進め、展示を行い町の歴史を分かりやすく紐解いていきます。

#### 主な取り組み

- 遺物や記録類、民俗資料の整理
- 歴史資料の展示や保管場所の確保
- メディアを活用した多様な展示

04

## 文化を守る意識の醸成

本町の歴史・伝統・文化等に触れる体験を通し、すべての住民が、暮らしている町に対する理解を深め、それらを保護、伝承する意識を醸成します。そのことを通じて、町への愛着心を育みます。

また、景観に関する取り組みと連携し、フットパス<sup>(⇒ P140)</sup>で町の歴史を辿る等、他の分野と関連づけながら取り組みを進めていきます。

### 主な取り組み

- 文化財保護意識の高揚
- 学校におけるみやき町の歴史に関する授業の充実
- フットパスの活用



**関連部署** 産業支援課、社会教育課



**関連計画** みやき町総合戦略／みやき町景観計画



# 心豊かで多様性 のあるまち



## (2) 生涯学習

### 施策分野の目標

住民が生涯を通じて主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に活かしていくことができるまちを目指します。誰もが学びを楽しめ、その学びが地域づくりに反映されるよう、生涯学習環境を整備します。

	目標値 (R14 年度)	実績値
成果 指標	教室・講座種類数	10 講座
	教室・講座の受講者数	590 人 / 年
		8 講座
		470 人 / 年

### 主な現状と課題

- 住民がいつでも、どこでも、誰でも学ぶことができるよう、学習ニーズに対応した教室・講座等を開講するよう努めています。
- 新規受講者が減少しており、教室・講座の企画や実施方法等が画一化・陳腐化しないよう、内容をその時に応じたものに更新していく必要があります。
- 生涯学習施設については、利用者に配慮してバリアフリー改修を検討する等、適正な維持管理・活用に努めています。また、町立図書館や各施設にある図書室では、図書館機能の充実や効率的な運用を行っています。

## 基本施策

01

### 生涯学習の 体制整備

他自治体の事例など情報収集に努め、魅力ある教室・講座づくりを目指し、誰もがいつでもどこでも気軽に学べる環境の整備を行います。

#### 主な取り組み

- 新規受講者を増やすための魅力ある教室・講座づくり
- 生涯学習指導者の育成・確保

02

### 生涯学習施設の 適切な維持管理

各施設の定期的な点検を行い、誰もが安心して快適に利用できるよう維持管理を行います。

#### 主な取り組み

- 生涯学習施設の維持管理



**関連部署** 社会教育課



**関連計画** みやき町総合戦略／みやき町障害福祉計画・障害児福祉計画／みやき町男女共同参画計画／みやき町老人保健福祉計画



# 5

## 心豊かで多様性のあるまち



### (3) 人権・共生

#### 施策分野の目標

あらゆる差別や偏見がなく、誰もが属性ではなく個人として認められ、多様性が尊重される寛容なまちを目指します。

	目標値 (R14 年度)	実績値
成果指標	審議会等における女性委員の割合	30%
		18.6%

#### 主な現状と課題

- 同和問題や性別、人種等の多くの人権問題について、正しく理解し認識を深められるよう、人権尊重への意識啓発を行っています。
- 性別に対する固定観念が根強く残っています。
- 女性が地域に参画できる環境を整えることが必要となっています。

## 基本施策

01

### 人権教育・啓発の推進

様々な機会を通して人権に関する教育・啓発を推進し、住民一人ひとりが、互いの多様性や能力を認め合い、尊重し合う意識を醸成します。また、啓発内容を充実させ、研修会等への参加を促します。

#### 主な取り組み

- 各種教室、講座、研修会の開催等の人権啓発の推進
- 各校区での人権相談事業

02

### 男女共同参画社会の推進

男女共同参画への理解を深め、男女共同参画社会の形成を目指します。家庭や職場、地域等において、意識を変えることを促すため、講座、講演会等、学習機会を提供します。

また、女性が社会に参画できるよう、関係機関と連携しながら環境を整備します。

#### 主な取り組み

- 男女共同参画を推進するための教育・学習機会の充実
- 女性の社会参画への支援
- 女性登用の推進

03

### 多様性が尊重されるまちづくり

一人ひとりが、性別、年齢、国籍、性自認、性的指向、障がいの有無といった違いにかかわらず、ひとりの個人として尊重され、誰もが平等に社会に参加でき、お互いに支え合えるよう、環境を整えます。

#### 主な取り組み

- 多様性に関する学習機会の充実
- パートナーシップ制度(⇒ P140)の広報啓発



#### 関連部署

情報未来課、住民環境課※、社会教育課 (※：令和5年4月から)



#### 関連計画

みやき町総合戦略/みやき町地域福祉計画/みやき町障害者計画/みやき町男女共同参画計画



# 心豊かで多様性 のあるまち



## (4) 多文化共生・国際交流

### 施策分野の目標

国籍に関係なく誰もが心豊かに暮らせるよう、日本人住民と様々な文化を持つ外国人住民がお互いを理解し合い、支え合える多文化共生のまちづくりを進めるとともに、国際感覚がある国際人を育て、民間の国際交流団体の活動を支援する等、成人の国際交流事業を推進し、本町の国際化を目指します。

	目標値 (R14 年度)	実績値
成果指標 各種教室・交流会の開催	16回 / 年	13回 / 年

### 主な現状と課題

- 本町に暮らす外国籍の人が増加しており、すべての国籍の住民が等しく尊重される多文化共生社会を創ることが求められています。
- 日本人住民と外国人住民が文化や習慣の違いを認め合い、誤解や偏見の解消を図り、相互理解を深める機会を充実させる必要があります。
- 外国人住民が必要な情報を得て、安心して生活し、社会参加できる環境をつくるために、外国人住民の視点にたった取り組みが必要となっています。
- グローバル化に適応するため、国際交流の活性化、国際感覚豊かなグローバル人材の育成等が求められています。

## 基本施策

01

### 多文化共生社会の推進

他国の文化を理解し、国籍を超えて交流を深め、地域で共に支え合える関係がつけられるよう、交流の機会・場所の充実を図ります。また、外国人住民が安心して暮らせる生活環境づくりのため、日本語教室を開設し、交流を通じて支援や相談、情報提供の充実を図ります。

#### 主な取り組み

- コミュニケーション支援
- 生活支援
- 社会参加への支援
- 外国人住民と日常的に交流できる環境の整備

02

### 国際感覚あふれる人づくりのための交流の推進

県等の関係機関と連携し、国際交流事業等、海外に目を向けた事業を推進するとともに、受け皿となる組織の育成・充実に努めます。

また、民間の国際交流団体等との連携により、海外からのホームステイの受け入れや住民と外国人との交流事業を推進します。

#### 主な取り組み

- みやき町国際交流会との連携
- 留学支援制度の検討



関連部署

まちづくり課